



## SIP プロファイルの設定

---

SIP プロファイルは、SIP トランクおよび SIP エンドポイントに関連付けられている一連の SIP 属性から構成されます。SIP プロファイルには、名前、説明、タイミング、リトライ、コール ピックアップ URI などの情報が含まれます。このプロファイルには、削除も変更もできない標準エントリがいくつかあります。

SIP プロファイルの検索と設定をするには、次のトピックを参照してください。

- [SIP プロファイルの検索 \(P.79-2\)](#)
- [SIP プロファイルの設定 \(P.79-3\)](#)
- [SIP プロファイルの設定値 \(P.79-4\)](#)
- [SIP プロファイルの削除 \(P.79-10\)](#)
- [SIP プロファイルのリセット \(P.79-11\)](#)
- [関連項目 \(P.79-12\)](#)

## SIP プロファイルの検索

Find and List SIP Profile ウィンドウを使用して、SIP プロファイルを検索する手順は、次のとおりです。この機能は、次のカテゴリに基づいて、あらゆるタイプの SIP プロファイルを検索します。

- Profile name (プロファイル名)
- Description (説明)

### 手順

---

**ステップ 1** Device > Device Settings > SIP Profile の順に選択します。

Find and List SIP Profile ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** ドロップダウン リスト ボックスから、表示する SIP プロファイルのタイプを特定するための検索テキストを選択し、**Find** をクリックします。



(注) データベースに登録されている SIP プロファイルをすべて検索するには、テキストを入力せずに **Find** をクリックします。

---

ウィンドウの内容が更新され、検索条件と一致する SIP プロファイルが表示されます。

**ステップ 3** 検索条件と一致するレコードのリストから、SIP プロファイルを選択します。

**ステップ 4** Find and List SIP Profiles ウィンドウから複数の SIP プロファイルを削除するには、該当する SIP プロファイルの横にあるチェックボックスをオンにして **Delete Selected** をクリックします。ウィンドウ内のすべての SIP プロファイルを選択するには、**Select All** ボタンをクリックします。その後、**Delete Selected** をクリックします。

---

### 追加情報

P.79-12 の「[関連項目](#)」を参照してください。

## SIP プロファイルの設定

SIP プロファイルを追加、コピー、または更新する手順は、次のとおりです。

### 手順

---

**ステップ 1** Device > Device Settings > SIP Profile の順に選択します。

Find and List SIP Profile ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** 次のいずれかの作業を行います。

- 既存の SIP プロファイルをコピーする場合は、適切な SIP プロファイルを見つけ (P.79-2 の「SIP プロファイルの検索」を参照)、コピーする SIP プロファイルの横にある **Copy** ボタンをクリックして、**ステップ 3** に進みます。
- 新しい SIP プロファイルを追加する場合は、**Add New** ボタンをクリックし、**ステップ 3** に進みます。
- 既存の SIP プロファイルを更新する場合は、適切な SIP プロファイルを見つけ (P.79-2 の「SIP プロファイルの検索」を参照)、**ステップ 3** に進みます。

**ステップ 3** 適切な設定値を入力します (表 79-1 を参照)。

**ステップ 4** **Save** をクリックします。

---

### 追加情報

P.79-12 の「関連項目」を参照してください。

## SIP プロファイルの設定値

表 79-1 では、SIP Profile Configuration ウィンドウ内で使用可能な設定値について説明します。関連手順の詳細については、P.79-12 の「関連項目」を参照してください。

表 79-1 SIP プロファイルの設定値

| フィールド                                | 説明  |
|--------------------------------------|---|
| SIP プロファイル情報                         |   |
| Name                                 | SIP プロファイルを識別する名前を入力します（たとえば、SIP_7905）。この値には、1～50 文字（英数字、ドット、ダッシュ、または下線を含む）を指定できます。   |
| Description                          | SIP プロファイルの目的を指定します（たとえば、SIP for Model 7970）。   |
| Default Telephony Event Payload Type | RFC2833 テレフォニー イベントのデフォルト ペイロード タイプを指定します。詳細については、RFC 2833 を参照してください。ほとんどの場合は、デフォルト値が適切なペイロード タイプです。変更すると DTMF トーンの受信や生成ができなくなる可能性があるため、必ずこのパラメータをよく理解した上で変更してください。デフォルト値は 101 です。96～127 の範囲で指定できます。<br><br>このパラメータの値は、次の状態のコールに影響を及ぼします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• コールが Cisco CallManager からの発信 SIP コールである。</li> <li>• 発信 SIP トランクに対して、SIP Trunk Configuration ウィンドウの Media Termination Point Required チェックボックスがオンである。</li> </ul>   |
| Redirect by Application              | このチェックボックスをオンにして、SIP トランクにこの SIP プロファイルを設定すると、Cisco CallManager 管理者は次の操作を行うことができるようになります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 3xx 応答で受信されるリダイレクト コンタクトに特定のコーリングサーチ スペースを適用する。</li> <li>• リダイレクト コンタクトにディジット分析を適用し、コールが正しくルーティングされることを確認する。</li> <li>• サービス パラメータが設定できるリダイレクション（再帰リダイレクション）の数を制限することにより、DOS 攻撃（サービス拒絶攻撃）を防止する。</li> <li>• リダイレクション中に他の機能を起動できるようにする。</li> </ul> 制限付きの電話番号（国際番号など）にリダイレクトされるということは、スタック レベルでリダイレクションを処理すると、コールはブロックされずにルーティングされることを意味します。これは、Redirect by Application チェックボックスがオフの場合の動作です。<br><br>『Cisco CallManager システム ガイド』の「リダイレクション」を参照してください。 |

表 79-1 SIP プロファイルの設定値 (続き)


| フィールド                            | 説明  |
|----------------------------------|---|
| Disable Early Media on 180       | <p>デフォルトでは、Cisco CallManager は、180 応答または 183 応答で SDP が受信されない場合、ローカル リングバックを再生するように、発信側の電話機に信号を送ります。180 応答または 183 応答に SDP が含まれている場合、ローカルでリングバックが再生されず、Cisco CallManager はメディアを接続し、発信側の電話機は着信側のデバイスが送信するトーン (リングバックやビジー信号など) を再生します。リングバックを受信しない場合は、接続先のデバイスが 180 応答に SDP を含めているが、200OK 応答の前にメディアを送信していない可能性があります。その場合は、このチェックボックスをオンにして、発信側の電話機でローカル リングバックを再生し、200OK 応答の受信時にメディアを接続します。</p> <p> (注) リングバックを受信する電話機は発信側の電話機ですが、着信側デバイスのプロファイル設定でこの動作が決まるため、着信側デバイスのプロファイルでこの設定が必要となります。</p> <p>『Cisco CallManager システム ガイド』の「初期メディアの使用」を参照してください。</p> |
| <b>電話機で使用されるパラメータ</b>            |   |
| Timer Invite Expires (seconds)   | SIP INVITE が期限切れになるまでの時間を秒数で指定します。Expires ヘッダーはこの値を使用します。有効値は任意の正数です。デフォルトは 180 です。   |
| Timer Register Delta (seconds)   | このパラメータは、Timer Register Expires の設定値と共に使用します。電話機は、登録期間が終わる Timer Register Delta 秒前に再登録します。登録期間は、SIP Station Keepalive Interval サービス パラメータの値によって決まります。有効値の範囲は 32767 ~ 0 です。デフォルトは 5 です。  |
| Timer Register Expires (seconds) | SIP 電話機が REGISTER メッセージの Expires ヘッダーで送信する値を指定します。有効値は任意の正数です。デフォルト値は 3600 (1 時間) です。REGISTER への 200OK 応答で、Cisco CallManager は、SIP Station KeepAlive Interval サービス パラメータの設定値を含む Expires ヘッダーを指定します。200OK 内のこの値によって、登録が期限切れになるまでの時間 (秒数) が決まります。電話機は、この期間が終わる Timer Register Delta 秒前に登録をリフレッシュします。  |
| Timer T1 (msec)                  | SIP メッセージの再送信タイマーの最小値をミリ秒数で指定します。有効値は任意の正数です。デフォルトは 500 です。   |
| Timer T2 (msec)                  | SIP メッセージの再送信タイマーの最大値をミリ秒数で指定します。有効値は任意の正数です。デフォルトは 4000 です。  |
| Retry INVITE                     | INVITE 要求が再送信される最大回数を指定します。有効値は任意の正数です。デフォルトは 6 です。   |
| Retry Non-INVITE                 | INVITE 要求以外の SIP メッセージが再送信される最大回数を指定します。有効値は任意の正数です。デフォルトは 10 です。   |
| Start Media Port                 | メディア用の Real-Time Protocol (RTP) ポート範囲の始まりを指定します。メディア ポート範囲は 16384 ~ 32766 です。デフォルトは 16384 です。   |
| Stop Media Port                  | メディア用の Real-Time Protocol (RTP) ポート範囲の終わりを指定します。メディア ポート範囲は 16384 ~ 32766 です。デフォルトは 32766 です。   |

表 79-1 SIP プロファイルの設定値 (続き)

| フィールド                       | 説明   |
|-----------------------------|--|
| Call Pickup URI             | この URI では、SIP 電話機がコール ピックアップ機能を起動するために Cisco CallManager に送信する固有のアドレスを指定します。   |
| Call Pickup Group Other URI | この URI では、SIP 電話機がコール ピックアップグループの他の機能を起動するために Cisco CallManager に送信する固有のアドレスを指定します。  |
| Call Pickup Group URI       | この URI では、SIP 電話機がコール ピックアップグループ機能を起動するために Cisco CallManager に送信する固有のアドレスを指定します。   |
| Meet Me Service URI         | この URI では、SIP 電話機が Meet-Me 会議機能を起動するために Cisco CallManager に送信する固有のアドレスを指定します。  |
| Call Forward URI            | この URI では、SIP 電話機が自動転送機能を起動するために Cisco CallManager に送信する固有のアドレスを指定します。   |
| Abbreviated Dial URI        | この URI では、SIP 電話機が固定短縮ダイヤル機能を起動するために Cisco CallManager に送信する固有のアドレスを指定します。<br><br>回線キーに関連付けられていない短縮ダイヤル (固定短縮ダイヤル インデックス) は、電話機にダウンロードされません。電話機は、機能表示メカニズム (Call-Info ヘッダーを含む INVITE) を使用して、固定短縮ダイヤル番号がいつ入力されたかを示します。要求 URI には固定短縮ダイヤルディジット (たとえば 14) が含まれ、Call-Info ヘッダーには固定短縮ダイヤル機能が示されます。Cisco CallManager は、固定短縮ダイヤルディジットを、設定済みの数字列に変換し、コールをその数字列で拡張します。固定短縮ダイヤルディジットに対して数字列が設定されていない場合、電話機に 404 Not Found 応答が返されます。 |
| User Info                   | REGISTER メッセージ内の user= パラメータを設定します。<br><br>有効値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• none : 値は挿入されません。</li> <li>• phone : REGISTER の To ヘッダー、From ヘッダー、および Contact ヘッダーに user=phone という値が挿入されます。</li> <li>• ip : REGISTER の To ヘッダー、From ヘッダー、および Contact ヘッダーに user=ip という値が挿入されます。</li> </ul>  |
| DTMF DB Level               | インバンド DTMF デジットのトーン レベルを指定します。有効値は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 1 : 公称より 6 dB 小さい</li> <li>• 2 : 公称より 3 dB 小さい</li> <li>• 3 : 公称</li> <li>• 4 : 公称より 3 dB 大きい</li> <li>• 5 : 公称より 6 dB 大きい</li> </ul>  |
| KPML                        | キー プレス マークアップ言語を指定します。Signal only、DTMF only、None、および Both の中から選択できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• None : KPML はオフ</li> <li>• Signal only : コールの発信に必要な電話機からのディジット収集</li> <li>• DTMF only : コール確立後のアウトオブバンド DTMF デジットの転送 (たとえば、IVR システムにアクセスするため)</li> <li>• Both : Signal と DTMF の両方</li> </ul>  |

表 79-1 SIP プロファイルの設定値 (続き)

| フィールド                              | 説明  |
|------------------------------------|---|
| Call Hold Ring Back                | <p>保留中のコールがある状態で別のコールで話をしていて、そのコールを切った場合、このパラメータがオンであると、電話機の呼び出し音が鳴って、まだ他に保留中の相手がいることを通知されます。有効値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Off: 常に使用不可です。ユーザ インターフェイスを使用してローカルでオン/オフを切り替えることはできません。</li> <li>• On: 常に使用可能です。ユーザ インターフェイスを使用してローカルでオン/オフを切り替えることはできません。</li> </ul>   |
| Anonymous Call Block               | <p>番号非通知呼び出しのブロックを設定します。有効値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Off: 常に使用不可です。ユーザ インターフェイスを使用してローカルでオン/オフを切り替えることはできません。</li> <li>• On: 常に使用可能です。ユーザ インターフェイスを使用してローカルでオン/オフを切り替えることはできません。</li> </ul>  |
| Caller ID Blocking                 | <p>発信者 ID のブロッキングを設定します。ブロッキングが使用可能である場合、電話機はそれ自身の番号または電子メールアドレスを、発信者 ID が使用可能になっている電話機からブロックします。有効値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Off: 常に使用不可です。ユーザ インターフェイスを使用してローカルでオン/オフを切り替えることはできません。</li> <li>• On: 常に使用可能です。ユーザ インターフェイスを使用してローカルでオン/オフを切り替えることはできません。</li> </ul>   |
| Do Not Disturb Control             | <p>Do Not Disturb (DND) 機能を設定します。有効値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• User controlled (デフォルト): 電話機の dndControl パラメータが 0 になります。</li> <li>• Admin Controlled: 電話機の dndControl パラメータが 2 になります。</li> </ul>   |
| Telnet Level for 7940 and 7960     | <p>Cisco SIP IP Phone モデル 7940 と 7960 は、ログイン アクセス用の SSH をサポートしません。また、ログ収集に使用される HTTP もサポートしません。ただし、これらの電話機は Telnet をサポートします。ユーザは、Telnet を使用して、電話機を制御したり、デバッグを収集したり、設定値を表示したりできます。このフィールドでは、指定可能な次の値で telnet_level 設定パラメータを制御します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Disabled (アクセス不能)</li> <li>• Limited (一部のアクセスは可能だが、特権コマンドを実行できない)</li> <li>• Enabled (フル アクセス)</li> </ul> |
| Timer Keep Alive Expires (seconds) | <p>Cisco CallManager は、冗長性のサポートにキープアライブ メカニズムを必要とします。このフィールドでは、フェールオーバーが必要になったときにバックアップ Cisco CallManager が使用可能であることを保証するために、バックアップ Cisco CallManager に送信されるキープアライブ メッセージの間隔を指定します。</p>   |
| Timer Subscribe Expires (seconds)  | <p>サブスクリプションが期限切れになるまでの時間を秒数で指定します。この値は、Expires ヘッダー フィールドに挿入されます。有効値は任意の正数です。デフォルト値は 120 です。</p>   |

表 79-1 SIP プロファイルの設定値 (続き)



| フィールド  | 説明  |
|--|---|
| Timer Subscribe Delta (seconds)              | このパラメータは、Timer Subscribe Expires の設定値と共に使用します。電話機は、サブスクリプション期間 (Timer Subscribe Expires によって管理) が終わる Timer Subscribe Delta 秒前に再サブスクライブします。有効値の範囲は 3 ~ 15 です。デフォルトは 5 です。  |
| Maximum Redirections                         | この設定変数を使用して、コールをドロップする前に電話機がコールのリダイレクトを許可する最大回数を指定します。デフォルトは 70 回のリダイレクトです。   |
| Off Hook to First Digit Timer (microseconds) | 電話の受話器が外されてから最初のディジット タイマーが設定されるまでの経過時間をミリ秒数で指定します。値の範囲は 0 ~ 15,000 ミリ秒です。デフォルトは 15,000 ミリ秒です。  |
| Conference Join Enabled                      | このチェックボックスでは、SIP IP Phone 7940 または 7960 を使用している会議開始者が電話を切った場合、その電話機が残りの会議参加者を参加させようとするかどうかを指定します。残りの会議参加者を参加させる場合は、このチェックボックスをオンにします。残りの会議参加者を参加させない場合は、このチェックボックスをオフのままにします。<br><br><br><b>(注)</b> このチェックボックスは、SRST モードの Cisco SIP IP Phone 7941/61/70/71/11 だけに適用されます。     |
| RFC 2543 Hold                                | コール保留の信号が Cisco CallManager に送信される場合、RFC2543 に従って接続アドレスを 0.0.0.0 に設定できるようにするには、このチェックボックスをオンにします。この操作により、RFC3264 をサポートしないエンドポイントとの下位互換性を確保できます。   |
| Semi Attended Transfer                       | このチェックボックスでは、Cisco SIP IP Phone 7940 および 7960 の発信者が、コールの呼び出し音が鳴っているときに、在籍転送の 2 番目のレッグを転送できるかどうかを指定します。準在席転送を使用可能にする場合は、このチェックボックスをオンにします。準在席転送を使用不可にする場合は、このチェックボックスをオフのままにします。<br><br><br><b>(注)</b> このチェックボックスは、SRST モードの Cisco SIP IP Phone 7941/61/70/71/11 だけに適用されます。 |
| Enable VAD                                   | Voice Activation Detection (VAD) を使用可能にする場合は、このチェックボックスをオンにします。VAD を使用不可にする場合は、このチェックボックスをオフのままにします。VAD が使用可能である場合、音声検出時にメディアは伝送されません。  |



表 79-1 SIP プロファイルの設定値 (続き)

| フィールド                   | 説明   |
|-------------------------|--|
| Stutter Message Waiting | 電話機がオフフックになったときにメッセージが待機していると、スタッター ダイアル トーンが聞こえるようにする場合は、このチェックボックスをオンにします。メッセージが待機していてもスタッター ダイアル トーンが聞こえないようにする場合は、オフのままにします。   |
| Call Stats              | <p>BYE 要求および BYE 応答の RTP 統計情報を使用可能にする場合は、このチェックボックスをオンにします。BYE 要求および BYE 応答の RTP 統計情報を使用不可にする場合は、オフのままにします。</p> <p>このチェックボックスがオンである場合、電話機は次のようなヘッダー RTP-RxStat および RTP-TxStat を挿入します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• RTP-RxStat: Dur=a,Pkt=b,Oct=c,LatePkt=d,LostPkt=e,AvgJit=f</li> <li>• RTP-TxStat: Dur=g,Pkt=h,Oct=i</li> </ul> <p>それぞれの説明は、次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Dur: 受信開始または送信開始からの合計秒数。</li> <li>• Pkt: 受信または送信された RTP パケットの合計数。</li> <li>• Oct: 受信または送信された RTP ペイロード オクテットの合計数 (RTP ヘッダーは含みません)。</li> <li>• LatePkt: 受信された RTP パケットの合計遅延数。</li> <li>• LostPkt: 受信された RTP パケットの合計損失数 (RTP パケットの遅延は含みません)。</li> <li>• AvgJit: 平均ジッタ。これは、タイムスタンプ単位で測定され、RFC 1889 に従って算出された、RTP パケット到達時間ごとの統計的なばらつき概算値です。</li> <li>• a、b、c、d、e、f、g、h、i: 整数。</li> </ul> |

## SIP プロファイルの削除

SIP プロファイルを削除する手順は、次のとおりです。

### 始める前に

SIP プロファイルを使用しているデバイスを検索するには、SIP Profile Configuration ウィンドウの Related Links ドロップダウン リスト ボックスから **Dependency Records** リンクを選択します。Dependency Records がシステムで使用可能になっていない場合、Dependency Records Summary ウィンドウにメッセージが表示されます。Dependency Records の詳細については、P.A-4 の「[Dependency Records へのアクセス](#)」を参照してください。

### 手順

- 
- ステップ 1** 削除する SIP プロファイルを見つけます。P.79-2 の「[SIP プロファイルの検索](#)」を参照してください。
- ステップ 2** SIP Profile Configuration ウィンドウで、**Delete** をクリックします。
- この操作を実行すると取り消せないことを確認するメッセージが表示されます。
- ステップ 3** SIP プロファイルを削除するには、**OK** をクリックします。削除操作を取り消すには、**Cancel** をクリックします。
- 

### 追加情報

P.79-12 の「[関連項目](#)」を参照してください。

## SIP プロファイルのリセット

SIP プロファイルをリセットする手順は、次のとおりです。

### 手順

- 
- ステップ 1** Cisco CallManager Administration で、**Device > Device Settings > SIP Profile** の順に選択します。
- ステップ 2** リセットする SIP プロファイルを見つけます。P.79-2 の「[SIP プロファイルの検索](#)」を参照してください。
- ステップ 3** リセットする SIP プロファイルをクリックします。
- SIP Profile Configuration ウィンドウが表示されます。
- ステップ 4** **Reset** をクリックします。
- Device Reset ダイアログが表示されます。
- ステップ 5** 次のいずれかの項目をクリックします。
- **Restart** : 選択されたデバイスをシャットダウンせずに再起動します (電話機とトランクを Cisco CallManager に再登録します)。
  - **Reset** : デバイスをシャットダウンしてから再起動します。
  - **Close** : 何も実行しないで、Reset Device ダイアログを閉じます。
- 

### 追加情報

P.79-12 の「[関連項目](#)」を参照してください。

## 関連項目

- [SIP プロファイルの検索 \(P.79-2\)](#)
- [SIP プロファイルの設定 \(P.79-3\)](#)
- [SIP プロファイルの設定値 \(P.79-4\)](#)
- [SIP プロファイルの削除 \(P.79-10\)](#)
- [SIP プロファイルのリセット \(P.79-11\)](#)
- [Cisco IP Phone の設定 \(P.70-3\)](#)
- [トランクの設定 \(P.71-3\)](#)
- 『Cisco CallManager システム ガイド』の「セッション開始プロトコル (SIP) の概要」